

美術館前庭の芝の緑が鮮やかになってまいりました。さわやかな初夏のはじまり、景観を楽しみながらお越しく下さい。

展覧会のお知らせ

常設展示

「小川原脩 童話の光景 異国の空」

小川原脩がアジアの風土を描いた作品には、生き生きとした動きと朗らかな表情をした動物たちが次々と登場します。動物たちの楽しく賑やかな会話、心に思い浮かぶ物語を楽しみながらご覧ください。

会期：4月17日（木）～7月13日（日）

企画展示

「4人の絵本原画展」

札幌で活躍する4人のイラストレーター、マツかずこさん、山岸みつこさん、すずきももさん、中井亜佐子さんによる、楽しい絵本の原画展です。

会期：6月7日（土）～7月13日（日）

—関連事業—

♪ミュージアムコンサート『展覧会の絵』

日時：6月14日（土）14時 出演：柴瑞穂（ピアノ）

会場：美術館ロビー 料金：無料

★絵本ワークショップ（作家による絵本読み聞かせ）

日時：6月29日（土）14時

会場：展示室内 料金：要入館料

講師：マツかずこ、山岸みつこ、すずきもも、

中井亜佐子（出品作家）

アート・イベントのお知らせ

土曜サロン

「フランス美術への招待」6月21日（土）14時～15時

「パリ・ルーヴル美術館の秘密」6月28日（土）

14時～15時30分

会場：美術館映像ルーム 料金：入館料のみ

講師：当館館長 柴勲

フリーマーケット開催

■日時／6月21日（土）10時～14時（雨天中止）

■場所／倶知安風土館側前庭（アプローチ）周囲

福島世二

この時期は山での事故が増えます。山菜採りや登山などで山に行かれる方は、安全第一で、事故のないようにしてください。携帯電話を持参したり、ルートが分かるよう目印を木につけたりするなど、各々で対策をとることも大切です。また、スポーツが盛んになる季節です。運動前には必ず準備体操をし、怪我には十分お気をつけてお過ごしください。

ミュージアム通信

小川原脩記念美術館

☎ 21-4141 FAX 21-4142

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/somoa/index.jsp

倶知安風土館

☎ 22-6631 FAX 22-6632

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/huudokan/huudokan.jsp

開館時間は9時～17時

（入館は16時30分）

6月の休館日

3～6、10、17、24日

木田金次郎美術館 ☎ 0135-63-2221

開館20周年記念春の特別展

「木田金次郎と北海道銀行カレンダー」

開催中

「絵の町・岩内：町民コレクション」

6月18日（水）から

ナイトオープン 6月21日（土）

西村計雄記念美術館 ☎ 0135-72-2525

春から夏の展覧会

「西村計雄のヨオロッパまちあるき」開催中

おやこで楽しむ展覧会「みずのたび」開催中

トライアート「おとなの遠足しりべしミュージアムロードめぐり」6月21日（土）

「西村計雄生誕記念コンサート スタンダードジャズと巡るみずのたび」

荒井記念美術館 ☎ 0135-63-1111

ピカソ特別展「ピカソ晩年の光と闇」開催中

西村計雄常設展

「東色のパレット・西色のカンヴァス」開催中

有島記念館 ☎ 0135-44-3245

あべ弘士絵本原画展 開催中

海と山と田園と -ミュージアムロード情報-

町長室から

6月に入り、倶知安町にも緑が溢れてきました。昨年は過去2番目の遅さで開花した桜も、今年は例年より4日早く開花しました。雨が降らない日が続いていましたが、5月の連休を境に少しずつ降るようになりました。私たちはつい晴天を願ってしまいがちですが、豊かな農作物の育成のためにも、恵みの雨が降ることも、晴天と同様に願っていただきたいものです。

5月末には、姉妹都市スイス・サンモリッツの市長はじめ6名が来町されました。姉妹都市提携50周年を迎えられたことを共に祝い、未来へ向けてさらに友好を深めていくことを確認しました。国を越え、言葉や文化の壁を越え、共に歩んできた歴史に感謝と敬意をもって、これからの姉妹都市関係を実り多いものにしてまいりたいと思います。そのためには、私たち行政だけではなく町民の皆さまの協力が不可欠です。7月に町民の皆さまと共にサンモリッツを訪問します。行政と町民が一つとなつて、姉妹都市サンモリッツとの絆を深めてまいります。

この時期は山での事故が増えます。山菜採りや登山などで山に行かれる方は、安全第一で、事故のないようにしてください。携帯電話を持参したり、ルートが分かるよう目印を木につけたりするなど、各々で対策をとることも大切です。また、スポーツが盛んになる季節です。運動前には必ず準備体操をし、怪我には十分お気をつけてお過ごしください。

感動一点 の場

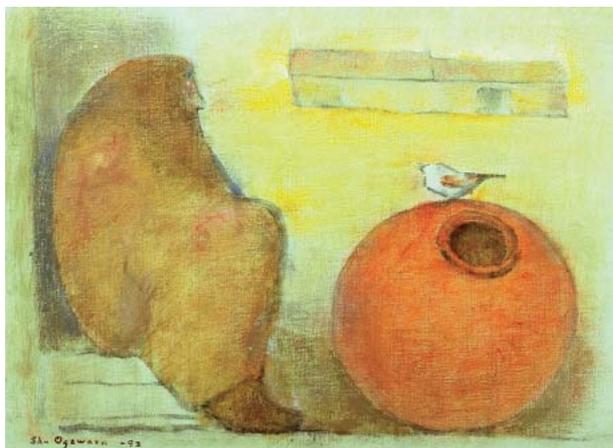
『無題』

1992年 小川原 脩 画

この作品と向かい合うとき、真っ先に目に飛び込むのは、この真ん丸のカタチをした壺であろう。私たちが、この球体が壺であると認識できるのは、黒い円、つまり口が描かれているからだ。この小さな暗闇、どこまで続いているのか、吸い込まれそうな奥行きを持っている。

子供たちに、この作品をみて物語をつくってもらった。やはり、この壺の中身について気になるようだ。空っぽではないように見える。冷たい水、お酒…想像は膨らむ。壺に水を汲んだのは、隣に腰掛ける女の。小鳥が問いかける「飲んでもいい?」。どうぞとすすめる場合もあれば、「だめだよ!」とお断りする場面も。自然な会話がここにはある。

この壺の本来の使い道は、聖なる川・ガンジスの水を持ち帰るための容器なのだそう。小川原脩がインドで出会った光景のひとつである。



ふるさと探訪

375回

—大昔の俱知安—

俱知安は盆地にある。そして大昔、この盆地には湖があった。いま、この湖を古俱知安湖と呼んでおこう。

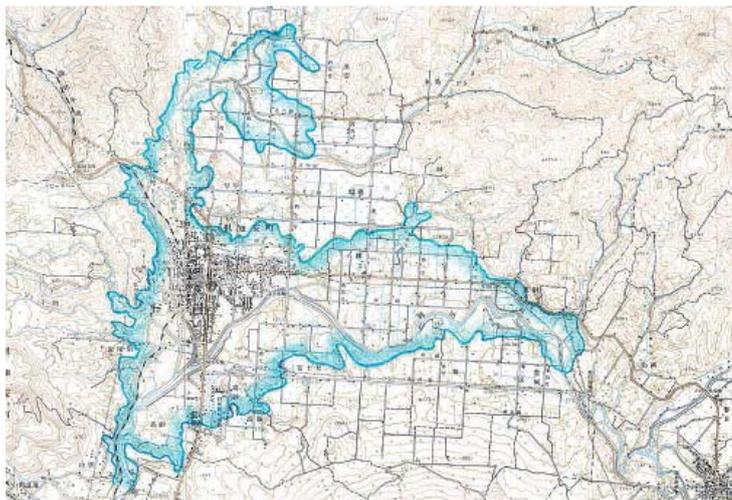
尻別川は、ひらふ駅の近くで大きく曲流している。地名で^{おおまがり}大曲と呼ばれている場所で、羊蹄山が大きく崩れたためにできている。火山活動の末期に羊蹄山が山頂直下から大きく崩壊し、その土石流は尻別川を横切って対岸のアンヌプリ中腹まで駆け上がっている。当然のこととして、そこに天然のダムが形成されたはずだ。地形を見ると、川の兩岸の標高が共に約200mでそろっていることから、天然のダムの規模が想像できる。そうすると、その上流側には標高200mの等高線と同じ範囲で水がたまっていたはずだ。それが古俱知安湖である。

直接的な証拠もある。俱知安で地下水に多量に含まれる鉄分の存在だ。鉄分を含む地層が形成されるのは、浅い内湾か湖である。内湾だった場所で土を掘ると必ず貝殻が出るが、俱知安ではそのようなことを聞かない

ので、湖説に軍配が上がる。

ここに古俱知安湖の範囲を想像して図を描いてみた。そして羊蹄山の最後の火山活動が約八千年から六千年前の縄文時代というから、縄文人の住んでいた遺跡の跡地を赤で重ねてみた。すると、ほとんど一致するのである。縄文人は古俱知安湖に丸木舟を浮かべたりして生活していたのだろうか。そう想像すると実に楽しい。

この場所に湖があったころ、四季折々の景色はさぞ見事だったろう。いま存在していれば、観光に最高だ。ヨシ、縄文の景色を取り戻そう。今の技術を持ってすれば十分に可能だ。もっとも俱知安の町は湖底に沈んでしまうけれど…。



絵本館 10～18時 (水曜休館)

公民館3階図書室 10～18時 (月曜休館)



新刊 ふしぎの国のアリス
ルイス・キャロル
はじめてのうちゅうえほん
てづかあけみ



新刊書の案内
はじめてのてんきえほん 武田康男
はじめてのほしぞらえほん 渡部潤一



憂いなき街
豆の上で眠る
佐々木 謙
湊 かなえ



今月の新書
愚者よ、お前がいなくなつて淋しくてたまらない
伊集院 静
ソナチネ 小池 真理子

★6月24日(火) は図書整理日のためお休みです。
今月のこびとの森
■日時/6月28日(土) 11時
大型絵本 きんぎょがにげた
これはジャックのたてたいえ

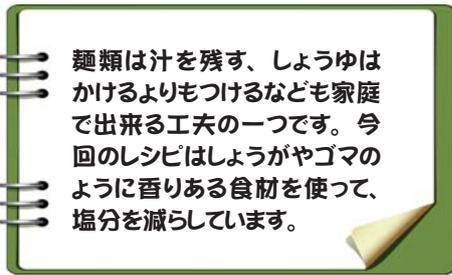
新訳 オズの魔法使い
ライアン・ブランク・ボーム
砂漠の王子とタンムズの樹 足立明
今月の特集 『雨の日』の本
北海道には梅雨がないはずですが、ここ数年どうも雨が多いように思っているのは私だけでしょうか？そんな雨の日に読みたくなる本を集めてみました。

★6月26日(木) は図書整理日のためお休みです。
紅けむり
山本 一力

醒めながら見る夢
私に似た人
ケモノの城
女のいない男たち
刑事の約束
辻 仁成
貫井 徳郎
誉田 哲也
村上 春樹
薬丸 岳

～できることからコツコツ予防を!!～
即席パリパリ漬け

1人分 エネルギー 18Kcal
塩分 0.5g



老人クラブや地域の健康相談に何うと、皆さん元気に笑顔で迎えてくれます。血圧測定、体重計測などをして、健康の話や日常の話を聞かせてもらおうと、高血圧で治療している方がとても多いです。

高血圧の状態が長く続くと、心臓や腎臓に負担がかかり、心筋梗塞や人工透析になる可能性があります。高血圧の原因の1つに塩分のとりすぎがあげられます。塩分の1日量は男性9g以下、女性7.5g以下、血圧治療中の方は6g以下が目標となっています。

ちょっぴり厳しいようですが、塩分の多いお味噌汁とお漬物は一緒に食べないとか、お味噌汁は具だくさんにとか、お漬物はどんぶりではなく、小皿にもってお上品に♪など少しの工夫で塩分を減らすことができます。毎食コツコツ意識して、病気の予防や悪化防止をして、元気に過ごしましょう。

栄養士 岩井麻未

★材料 (6人分)

- だいこん……………5cm
- にんじん……………1/3本
- 食塩……………小さじ1/2
- きゅうり……………1本
- しょうが……………1かけ
- すりごま……………大さじ1

★作りかた

- ①だいこんは拍子切り、きゅうりは斜め切り、にんじんとしょうがは千切りにしておく。
- ②野菜を全部ビニール袋に入れて、塩を加えて、空気を抜いて冷蔵庫で保存する。
- ③食べる直前にすりごまを混ぜる。